

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	A	令和6年(2024年)3月1日
横断的な課題	その他					
地域重点政策	ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる					長野地域振興局
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	伝統的工芸品振興事業				電話	8-245-2234
				E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」の基本理念に基づき、長野地域の伝統的工芸品の価値や魅力の周知を図る。				
	現状と課題	(現状) 伝統的工芸品は、生活様式の変化や大量生産品の普及による需要減少、職人及び後継者不足といった課題を抱える状況下にある。製造や販売を担う事業所の大半を小規模事業所が占めており、継続して厳しい経営状況に置かれており事業継続が困難であるといった声が多く聞かれている。 (課題) 伝統的工芸品制作事業者は、長野地域を訪れる観光客に伝統的工芸品を広く知ってもらうことでの需要喚起を必要としている。				
	内容 (変更後の内容)	1 松代焼陶芸体験研修会の実施 事業内容：旅館・ホテル関係者に長野地域の県指定伝統的工芸品である「松代焼」の陶芸体験研修会を実施し、長野地域で楽しむ体験型観光として理解してもらう。 研修会参加者には自ら作陶した経験をもとに、宿泊客(観光客)に松代焼の魅力をどのように発信すればより効果的な情報発信につなぐことができるかについて考える場とする。 日時：令和5年6月20日(火) 午前11時 場所：(有)松代 松代陶苑(長野市松代町2120) 参加者：上山田温泉旅館組合員加盟宿泊施設従業員 2 陶芸体験紹介チラシの作成・配布 事業内容：6月の陶芸体験研修会に参加した宿泊施設を中心に、陶芸体験を宿泊客に有効的に拡散してもらえるよう陶芸体験を紹介するチラシを作成し宿泊施設に配置(配布)する。 実績：1月初旬頃にチラシが完成。宿泊の繁忙期を避け、1月末から頃宿泊施設へ配置(配布) 配置(配布)先：上山田温泉旅館組合員				
事業期間	令和5年6月 ~ 令和6年1月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	松代焼陶芸体験研修会	松代焼陶芸体験	49,391	委託料一式		
	陶芸体験チラシ作成	チラシ作成費	99,550	印刷費500枚 @38×500×1.1=20,900 製作費(デザイン、データ作成等)71,500×1.1=78,650		
合計		148,941				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	体験研修会参加者数		30人	14人	○ 達成	
	配置(配布)宿泊施設数		20施設	28施設	● 一部達成	
					○ 未達成	

<p>事業実績・成果</p>	<p>松代焼は広く知られた地域を代表する伝統的工芸品の一つであるが、観光業に携わる方でも陶芸体験者は数が少ない。地元の体験型コンテンツを旅行者に広く伝えてもらう一助として今回初めてこのように企画した。体験研修会参加者からは「楽しい、初めてでも簡単に出来る、宿泊客に提案したい」など、概ね良い評価を得た。体験し自らが楽しんでいただいた事で、体験型コンテンツの良さをリアルに宿泊客に伝えることが出来る素地が出来たと考える。次のステップとして、宿泊客に広める・伝える方法の検討に入った。お勧めするためのツールが何かあればという声が多く聞かれ、作陶体験のチラシを当局にて作成。信州千曲観光局の協力も得て戸倉上山田温泉の旅館・ホテルに配布し、松代焼(陶芸体験)の周知を始めてもらっている。配布時期が令和6年1月下旬からであるため、チラシによる周知効果は今後(春の行楽シーズン以降)松代焼関係者から伺うこととする。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>他の伝統的工芸品についても異業種への体験会開催を検討したが、製品の特性上不向きであったため、今後は産業フェア等の展示会における周知活動を展開する。</p>